

令和7年度第1回横浜市入札等監視委員会 議事概要

【日 時】令和7年5月22日（木）午後1時30分～4時00分

【場 所】[委員] WEB参加 [事務局]横浜市役所11階 契約部内 入札室

【出席委員】青柳 由香委員長、岡本 由美子委員、千々松 愛子委員、村瀬 景子委員

寺川 祐一委員

【議 題】

1 審議事項

- | | |
|---------------------------------|----|
| (1) 一般競争入札（WTO・総合評価落札方式）に係る抽出案件 | 2件 |
| (2) 一般競争入札（条件付・総合評価落札方式）に係る抽出案件 | 2件 |
| (3) 一般競争入札（条件付）に係る抽出案件 | 2件 |
| (4) 随意契約に係る抽出案件 | 2件 |

2 報告事項

- (1) 指名停止等措置の状況について
- (2) 談合情報対応状況について
- (3) 入札及び契約手続の運用状況について
- (4) その他

【議事内容】

議題1－（1）一般競争入札（WTO・総合評価落札方式）に係る抽出案件2件についての審議

対象案件：1 「旧上瀬谷通信施設公園（仮称）パークセンター1 新築工事」
2 「南部汚泥資源化センター汚泥焼却3号炉設備工事」

委員：抽出理由の説明。

- 1 2件のWTO 総合評価落札方式案件であるため。
- 2 2件のWTO 総合評価落札方式案件であるため。

本市：抽出案件について説明。

委員：「1件目について、調査基準価格が75%になった理由と、予定価格を事前公表している理由は何か。」

本市：「本件は設計と施工を一括して行う方式であるため、通常の算定式を適用することが難しい案件です。このような場合、要綱により、調査基準価格は予定価格の75%から95%の範囲で設定することが定められています。今回は、より多くの技術提案を募ることを目的として、調査基準価格を75%に設定しました。また、設計や性能を事業者に委ねる方式であることから、事業の規模感を示すために予定価格を事前に公表することが要綱で定められています。」

委員：「予定価格を事前に公表することにより、落札価格が予定価格に近づく傾向を生じさせていないか。」

本市：「予定価格が積算の基準になることはあると思いますが、総合評価落札方式では技術提案も重視されるため、一概には言えないと考えています。」

委員：「1回目が不調だったとのことだが、2回目では何か条件変更をしたか。」

本市：「一部の材質などについて仕様を見直したり、木材の等級を具体的に記載するようにしたり、物価上昇を考慮し予定価格を上げたりなどの変更をしました。」

委員：「入札参加者は、入札日までデザイン監修者との接触は禁止されているのか。」

本市：「デザイン監修者のデザインを建物の設計として成り立たせる作業は、設計委託会社が担っており、本件の設計・施工一括方式にあたっては、設計委託会社がJVの構成員で参加すると有利になるおそれがあるため、公平性を確保するため設計委託会社と人的資本的関係がある者は入札に参加できないこととしました。」

委員：「2件目について事前公表、調査基準価格の設定の考え方は1件目と同じか。」

本市：「同じです。」

委員：「この会社ばかりが受注しているわけではないと言えるのか、他者の実績有無を聞きたい。」

本市：「市内の汚泥資源化センターで、他に1者が炉の製作を行っています。」

委員：説明を了承。

議題 1－（２）一般競争入札（条件付・総合評価落札方式）に係る抽出案件に係る抽出案件 2 件についての審議

抽出案件：1 「引地川水路橋耐震補強工事」
2 「上山三丁目口径 50 mm から 150 mm 配水管布設替工事（ゼロ市工事）」

委員：抽出理由の説明。

- 1 一般競争入札（総合評価落札方式）案件の中で鋼構造工種かつ複数の応札者がある案件であるため。
- 2 調査基準価格と同額で落札されている案件であるため。

本市：抽出案件について説明。

委員：「複数の入札者が調査基準価格と同じ金額で入札する理由を説明してほしい。」

本市：土木積算の仕組みについて追加資料を用いて説明。

「一般に公表している積算基準及び単価を設計書に正しく当てはめることで、工事費の積算が可能となります。工事費が決まると、直工費等の 4 項目に本市の定める係数を掛けて合計することで、調査基準価格が算出できます。」

委員：「調査基準価格が細かい金額になるのは、最後に掛け合わせる一般管理費が桁を丸めるための調整金額になっているということか。」

本市：「そのとおりです。予定価格が 1 万円未満はゼロになるような形です。」

委員：「単価表を参照し計算できるような公表の仕方だとすると、直接具体的な金額を出していなくても予定価格を積算できるということか。」

本市：「本市が公表している設計書には金額の記載はありませんが、工事内容や数量など積算に必要な情報は含まれています。積算能力のある事業者はこれをもとに単価表などを参照することにより、予定価格の推測が可能な状況にあると考えられます。」

委員：「設計図書の中に工事の日数も記載されているのか。」

本市：「一般的には、工事ごとに必要な日数や作業量が歩掛によって設定されています。標準的な積算では『何日×何人』といった情報が示されますが、例えば 10 日と記載されていても必ずしも 10 日で施工しなければならないわけではありません。事業者の工夫によって 7 日や 5 日で完了できる可能性もあります。」

委員：「今回の説明を受けて、たとえ予定価格が事前に公表されていなくても、調査基準価格含めて示されているのと同じだという認識を持たざるを得ない状況にあるのではないかと感じた。このような認識に立つと、最低制限価格にランダム係数を掛けることの是非についても、従来とは異なる視点からの検討が必要になる可能性がある。制度全体について、深く検討すべき点があると感じた。」

委員：「横浜市が使用している積算ソフトの種類や計算方法を予測することは可能か。」

本市：「設計書の様式から、使用している積算ソフトをある程度予測することは可能だと思います。本市が導入しているシステムであっても、民間企業のソフトであっても、機能には違いがあるものの積算に用いる基準や単価はすでに公表されており、それらをもとにシステム上で計算できるようになっています。」

委員：「予定価格を事後公表する際、内訳は全部公表されているのか。」

本市「入札結果の確定後3か月の間は、本市ホームページにおいて、内訳を含めた金入り設計書を閲覧することが可能です。」

委員：説明を了承。

議題1－（3）一般競争入札（条件付）に係る抽出案件2件についての審議

抽出案件：1「都筑処理区旭区上白根地区下水道再整備工事（その2）」

2「樽町ポンプ場第二施設沈砂池設備工事（その2）」

委員：抽出理由の説明

- 1 管更生工種かつ最低制限価格と同額で落札されている案件であるため。
- 2 機械器具設置工種かつ金額が高い案件であるため。

本市：抽出案件について説明。

委員：「ほとんどの事業者が最低制限価格を把握しているような結果に思える。官製談合を避ける趣旨でランダム係数を掛けていると思うが、全ての事業者が積算可能であるのであれば不要ではないかとも思える。」

委員：「平成15年の競売入札妨害事件を契機として当委員会が設置されたほか、様々な入札契約制度が導入されたと承知している。それから時代も大きく変わり、現在ではソフトウェアの普及等により事業者の積算能力も向上している。このような状況を踏まえ、制度設計について改めて検討する時期にきていると考えられる。」

委員：「1件目について反転工法と形成工法のどちらでもいいという発注の仕方だが、費用や工期的にも遜色ないものか。」

本市：「いずれの工法を採用しても、本市が求める強度を十分に満たしており品質に問題はありません。積算にあたっては複数の方法がありますが、仕様を満たす工法であれば一般的にはより安価な方で積算を行っています。」

委員：「実績があるため、横浜市がどのように積算しているかは明らかになっており、その内容を参考にすれば、今回の積算も十分に理解できると考えてよいか。」

本市：「そのとおりです。」

委員：「給水管の取り換え工事については、過去の事例でも複数の事業者が調査基準価格と同額で入札しているケースが見られる。一般的な内容であれば、積算が比較的容易であるという理解でよいか。」

本市：「そのとおりです。」

委員：説明を了承。

議題1－（4）随意契約に係る抽出案件2件についての審議

予定時間を満了したため、「議題1－（4）随意契約に係る抽出案件2件」については次回、第2回横浜市入札等監視委員会（令和7年7月開催予定）にて、併せて審議することとしました。

議題 2－（1）指名停止等措置の状況について

本市より、「指名停止等措置の状況」について報告。

委員：報告を了承。

議題 2－（2）談合情報対応状況について

（非公開）

議題 2－（3）入札及び契約手続の運用状況について

本市より、「入札及び契約手続の運用状況」について報告。

委員：報告を了承。

【まとめ】

抽出した案件について審議を行った結果、適切に入札及び契約手続等が行われていました。